



news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2020年3月3日

報道関係 各位

PET ボトルの循環利用を見て・触れて・学び・考える！！ 「容器の2030年ビジョン」体験コーナーを開設 ～「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」を目指して～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木康行)は、日本国内におけるプラスチック資源の循環利用のさらなる加速を目指し、日本のコカ・コーラシステムで策定した「容器の2030年ビジョン」を、当社に訪れるお客様や工場見学来場者など多くの皆様に、直接見て、触れて、学んでいただく体験コーナーを開設することとしました。

同体験コーナーでは、自動販売機型のリサイクル資源回収マシン「リバースベンディング」の体験、PET ボトルのリサイクル工程や素材に触れることができる展示など、見て、触れて、学びながら、プラスチック資源の循環利用について考える機会を提供いたします。

< 「容器の2030年ビジョン」体験コーナー概要 >



※イラストはイメージ図です。最終デザインではございません。

- 開設日 2020年3月9日(月)
- 住所 札幌市清田区清田1条1丁目2-1
北海道コカ・コーラボトリング(株) 本社内 1階 来客フロア
- 内容
 - ・自動販売機型のリサイクル資源回収マシン「リバースベンディング」体験コーナー
 - ・使用済みPETボトルから新品のPETボトルをつくりだす工程、リサイクル素材の展示
 - ・日本のペットボトルの現状や回収状況を学ぶパネル展示やVTR

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

< 本件に関するお問い合わせ先 >

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当：千葉 TEL 011-888-2091

【ご参考】

■「容器の2030年ビジョン」について

日本のコカ・コーラシステムでは、2018年1月19日に米国のザ コカ・コーラ カンパニーが発表した「World Without Waste（廃棄物ゼロ社会）」の実現を目指すグローバルプランに基づき、容器由来の廃棄物の問題の解決のため、「設計」「回収」「パートナー」の3つの柱からなる活動「容器の2030年ビジョン」に取り組んでいます。日本国内において設定されている環境目標は以下の通りです。

容器の2030年ビジョン

設計 (Design)

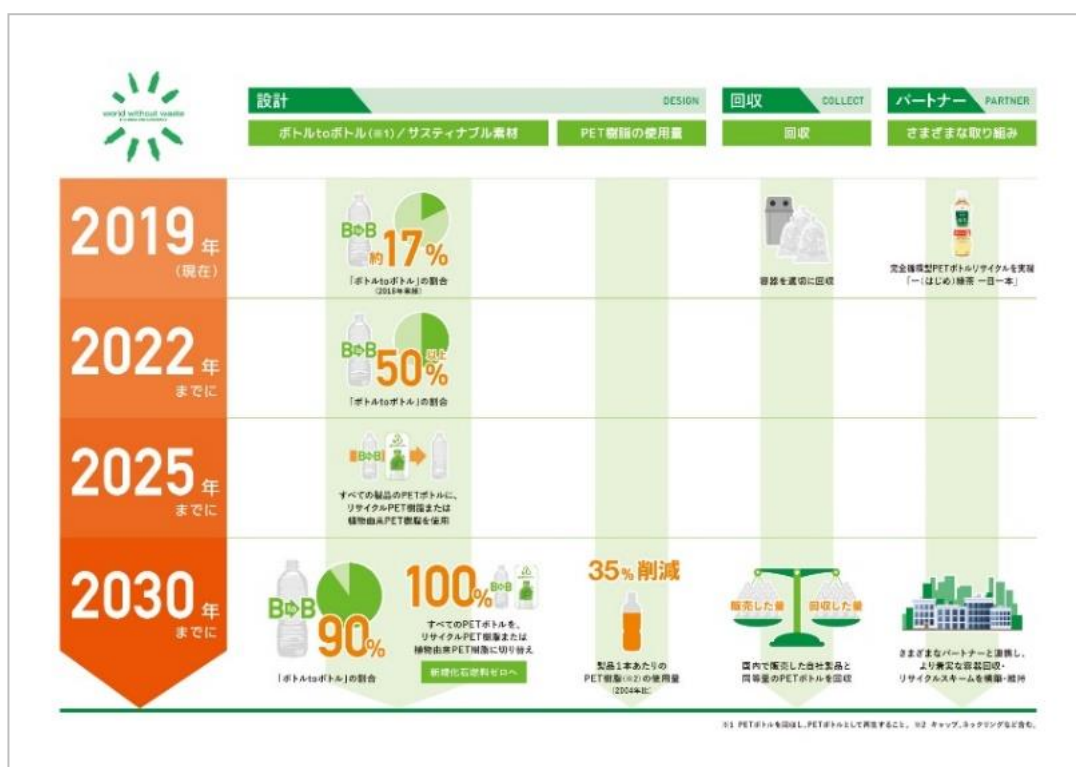
- ▶ 「ボトルtoボトル」(※)を推進し、2022年までにリサイクルPET樹脂の使用率50%以上を達成します（2018年実績：約17%）。2030年には「ボトルtoボトル」の割合を90%にまで高めます。
※「ボトルtoボトル」とは、使用済みPETボトルを回収・リサイクル処理したうえで、PETボトルとして再生し、飲料の容器として用いることです。
- ▶ 2025年までに、日本国内で販売するすべての製品にリサイクル可能な容器を採用します。また同年までにすべての製品のPETボトルにサステナブル素材（リサイクルPET樹脂または植物由来PET樹脂）を使用します。
- ▶ さらに、2030年までには、サステナブル素材の割合を100%とすることで、新たな化石燃料を使用しない容器の完全導入を目指します。
- ▶ 2030年までに、製品1本あたりのPET樹脂の使用量を35%削減（2004年比）します。

回収 (Collect)

- ▶ 2030年までに、日本国内で販売した自社製品と同等量のPETボトルを回収します。

パートナー (Partner)

- ▶ 政府や自治体、飲料業界、地域社会と協働し、すでに極めて高い水準にある国内のPETボトルと缶の回収・リサイクル率の更なる向上に貢献するべく、より着実な容器回収・リサイクルスキームの構築とその維持に取り組みます。



■“次世代ペットボトル”100%リサイクルペット！※1

新しい北海道の天然水「い・ろ・は・す 天然水 555mlPET」が3月9日より発売

コカ・コーラシステムは、厳選された日本の天然水を使用したナチュラルミネラルウォーターブランド「い・ろ・は・す」より、100%リサイクルペット※1 素材を用いた「い・ろ・は・す 天然水 100%リサイクルペットボトル」を、2020年3月9日（月）から全国で発売します。

2009年に発売した「い・ろ・は・す」は、国内最軽量のペットボトルを採用し、「日本生まれの天然水を、おいしく飲み、しばって（つぶして）、リサイクルする」という、おいしい水を飲むだけで簡単に楽しく参加できる エコアクションを提案してきました。これまで、「おいしい」と「環境にいい」を両立したナチュラルミネラルウォーターブランドとして消費者の方にご好評をいただいております。



「い・ろ・は・す 天然水
100%リサイクルペットボトル」

「い・ろ・は・す 天然水」では、これまで、ボトルの30%にリサイクルペット素材を使用していました。今回の導入にあたって、従来のリサイクルペット素材のボトルより透明度を高めるといった難易度の高い技術を実現したこと、パートナー企業の協力によって、ボトルの量産が可能になり、リサイクルペット素材を100%用いた、“100%リサイクルペットボトル”の「い・ろ・は・す 天然水」555mlを国内最大規模※2で導入することを実現しました。

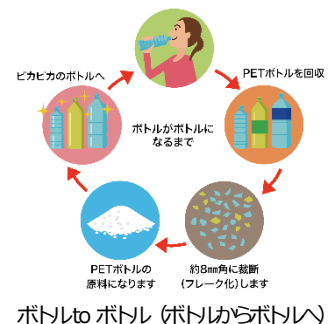
※1 100%リサイクルペット素材のボトル

※2 日本コカ・コーラ調べ

<「い・ろ・は・す 天然水 100%リサイクルペットボトル」が実現する環境への配慮>

① ペットボトルを資源として循環利用する“ボトル to ボトル”

使用済みペットボトルをリサイクルし、また新たなペットボトルへ生まれ変わらせることで、資源を最大限活用



② 年間でおよそ自動車※1 4,000台分の重さに相当する、石油から新規に製造されるプラスチックの使用を削減※2

石油から新規に製造されるプラスチックの使用を大規模に削減※2し、環境負荷を低減

※1 一般的な小型自動車1台をおよそ1トンで換算した場合

※2 「い・ろ・は・す 天然水」の従来品555mlとの比較

年間、自動車約4000台分の
プラスチック削減



③ ペットボトル1本あたりのCO₂排出量を49%削減

ペットボトル1本あたりのCO₂排出量が一般的なペットボトル※3と比較して、CO₂49%削減し、環境負荷を低減

※3 石油由来100%のペットボトル

